

文化芸術交流実験室

2019/6 — 2019/9

Culture and Arts Exchange Laboratory



トークセッションとワークショップがセットとなった

新しい切り口のシリーズ企画です。

岡山県内の分野横断的な交流の

プラットフォームを目指します。

これまでになかった素敵な化学反応を、

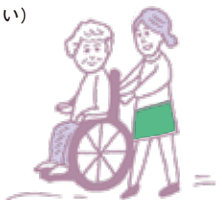
みんなで起こしてみませんか？



各回：定員 30 名

当企画は、お昼をはさんでおりますため、
各回内容に合わせてのランチ付きです。

(ランチ代 1,000 円は当日お支払いください)
19 回目はランチが軽食になります。



architecture
town planning
performing arts
welfare
education
photography
music

literature

cultural assets

history

traditional performing arts

food



local vitalization cooperator

international exchange

art

video

calligraphy

craft

design

fashion

tea ceremony · flower arrangement



分野を超えてつながることから
生まれるものを期待して



おかやま文化芸術アソシエイツでは平成29年度より、岡山県内の優れた文化・芸術資源の掘り起こしや、その価値を県民の皆様に再認識していただけるよう、調査研究事業を開始しました。

調査の過程で得られる新たな情報や、人材データをもとにして、文化・芸術と他分野との連携による新たな取り組みの提案や、ソーシャルインクルージョンの視点も盛り込んだレクチャーとワークショップを定期的に開催し、県内の人材や文化資源の領域横断的な出会いの場の創出と、ネットワーク構築を目指します。

この実験室に期待するのは、文化芸術コミュニティ内での交流はもちろん、福祉や教育、まちづくりなど様々な分野との交流に文化芸術の創造性を生かして、新しい取り組みが始まり、すべての人が文化芸術を楽しむことができる岡山が生まれることです。

主催：おかやま文化芸術アソシエイツ
(公社)岡山県文化連盟・岡山県
問い合わせ先：086-234-2626



2019年度
文化芸術創造拠点形成事業



大月ヒロ子

おかやま文化芸術アソシエイツ
プログラム・コーディネーター

武蔵野美術大学卒業後、板橋区立美術館学芸員として数多くのワークショップや展覧会を企画。その後独立して有限会社イデアを設立。九州国立博物館「あじっば」、国立歴史民俗博物館「たいけんれきはく」、大阪府立大型児童館big bang他で、コミュニケーションを誘発する新しい学びの場のデザインに取り組む。
平成25年、倉敷市玉島の実家を改装して、日本で初めてのクリエイティブリユース（庭や企業から日常的に生み出される廃材をそのまま破棄せず、人のクリエイティビティー（創造性）を使って、これまでに見たこともないような素敵なモノに生まれ変わらせる取り組み）の拠点「IDEA R LAB」を開設し、全国から注目を浴びている。「IDEA R LAB」を中心としたコミュニティづくりは、これからの時代の地域づくりのあり方にも一石を投じることを予感させる。

www.facebook.com/IDEARLAB



おかやま文化芸術アソシエイツとは

岡山県文化連盟が持つ既存のネットワークを生かして、地域で生活する我々がその地域の文化を構成する資源（ヒト、コト、場所、お金等）についてよく知り、地域の未来を見据えた新たな価値の創造と多様なステークホルダーの共生について思考するために平成29年度から始動した地域アーツカウンシル機能です。プログラム・コーディネーターに大月ヒロ子さんを迎え、様々な取り組みを始めています。



公益社団法人 岡山県文化連盟
おかやま
文化芸術アソシエイツ



お申し込みはwebサイトより

www.o-bunren.jp/lab-form

Hiroko Otsuki



18 回目 6/30(日) 11:00-17:00

「モード写真の世界」

写真の世界の中でも、モード写真はちょっと特殊ジャンルにあるといえるでしょう。時代感覚や、最先端の美意識などが、いち早く盛り込まれ、最終的には、様々な媒体に乗って世の中に広く流布されます。また、これはチームで作り上げる写真であるとも言えます。アートディレクターのもとに、写真家、写真家のアシスタント、モデル、スタイリスト、ヘアメイクアーティストなどが集い、撮影に臨みます。構成を考え、最終的な媒体に沿う仕上がりに向けて撮影する写真は、ドキュメンタリーやスナップ写真とはどのように違うのでしょうか。ワークショップではその違いの一端を味わってみたい。

詳細についてはおかやま文化芸術アソシエイツのWEBページをご覧ください。

講師：北山由紀雄（岡山県立大学デザイン学部 准教授）

協力：加藤マリ子（メイクアップアーティスト、Libra beauty 代表）

平野昌子（ダンサー、くるみダンスファクトリー 代表）

開催地：岡山県天神山文化プラザ

関連分野：メディア、アート、出版、美術、映像、ファッション



★岡山県天神山文化プラザ
岡山市北区天神町8-54
TEL：086-226-5005
www.tenplaza.info

19 回目 7/12(金) 19:00-21:00

「映画制作の現場」

岡山出身の映画監督と、その中学時代の同級生でもあった映画の制作担当者。岡山の自由律俳句の夭折の俳人、住宅顕信を描いた「ずぶぬれて犬ころ」では、共に協力して映画を作りあげました。そんな映画作りの現場では、何が起きているのでしょうか。また、監督の仕事は想像しやすいですが、制作という仕事は多岐にわたり想像し難いものです。映像の仕事を目指す若い人々には特に知ってほしい映画制作を支える様々なプロの事細かな仕事のあれやこれやを、第一線で活躍されるお二人からうかがいます。当日は吉備路文学館で住宅顕信の展覧会が開かれています。トークの前に展示や、ダイジェスト版の「ずぶぬれて犬ころ」をご覧くださいと、さらにお話のリアリティーや楽しさが増すはずです。

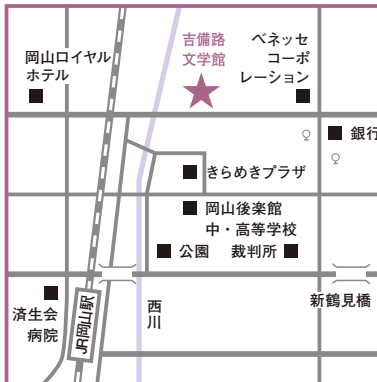
詳細についてはおかやま文化芸術アソシエイツのWEBページをご覧ください。

講師：竹井政章（映画・テレビの制作担当）

本田孝義（映画監督）

開催地：吉備路文学館

関連分野：メディア、文学、医療、教育、まちづくり、映像



★吉備路文学館
岡山市北区南方3-5-35
TEL：086-223-7411
www.kibiji.or.jp

20 回目 7/28(日) 11:00-16:00

「建築探偵団 其の参『土との対話』」

パーマカルチャーとは、オーストラリアのビル・モリソンとデビット・ホルムグレンが構築した持続可能な環境を作り出すためのデザイン体系のことです。県内にはアメリカからやってきたホルツヒューターさんを中心に活動するパーマカルチャーセンター上初かみもみがあり、里山の地形を読みとき、日本古来の伝統的な建築や農業の技術も活かしながら、エコロジカルな暮らしの実践やワークショップを行なっています。今では土や水と切り離された住環境で生活をする日本人も多くなりましたが、土との対話を大切にしながら、生活を整えていくパーマカルチャーの手法について、実践現場を見せていただきながら、未来に向けての暮らしをみんなで考えたいと思います。ワークショップでは土壁の中塗りの練習や、干し煉瓦造りを体験します。

詳細についてはおかやま文化芸術アソシエイツのWEBページをご覧ください。

講師：カイル・ホルツヒューター（一級左官技能士、生物資源科学博士）

協力：石田尚昭（建築家、岡山市スポーツ・文化振興財団 常務理事）

開催地：パーマカルチャーセンター上初

関連分野：建築、まちづくり、教育、文化財、歴史、農業



★パーマカルチャーセンター上初
久米郡久米南町上初863
Facebook：
[PermacultureKamimomi](https://www.facebook.com/PermacultureKamimomi)
会場周辺は道路が狭く、駐車場もありません。当日はJR弓削駅に集合し、事務局で手配するタクシーでの送迎のみとなります。JR弓削駅周辺にも駐車場はありませんので、JR津山線の利用をお願いします。

21 回目 9/28(土) 11:00-16:00

「お金の仕組みから考える 文化芸術の支援」

文化芸術の分野もお金とは無縁ではありません。人的・精神的サポートも大切ですが、プロジェクトの経費や、グループ運営のための人件費、調査や準備のための旅費など、実施に伴う資金が必要になって困ったという経験をされた方は多いのではないのでしょうか。文化芸術の支援は現在様々な形があります。公的・私的な助成金、最近はクラウドファンディングという方法をとってみんなで支えようという動きも盛んになってきました。サポートのバリエーションや仕組みをよく知り、文化芸術活動を疲弊せず継続させられるよう、実践的なワークショップを通して考えてみましょう。アートプロジェクトに関わる方々には特にオススメの回です。

詳細についてはおかやま文化芸術アソシエイツのWEBページをご覧ください。

講師：今野真理子（アーツカウンシル東京 シニア・プログラム・オフィサー）

高田佳奈（岡山県文化連盟 主任）

開催地：奉還町4丁目ラウンジ・カド

関連分野：美術・映像・まちづくり・建築・伝統工芸・

教育・福祉・伝統芸能・音楽・文学



★奉還町4丁目ラウンジ・カド
岡山市北区奉還町4-7-22
TEL：086-236-8326
hokancho4chomeiloungekado.localinfo.jp

PROFILE

18

北山由紀雄

岡山県立大学デザイン学部准教授。大学では写真に関する授業を担当。倉敷フォトミューラルを企画し、プロデューサーを務める。2007年より、岡山県美術展覧会写真部門審査員。日本写真学会、日本写真芸術学会所属



加藤マリ子

メイクアップアーティスト、Libra beauty 代表
Facebook：[Libra_beauty](https://www.facebook.com/Libra_beauty)



平野昌子

ダンサー、くるみダンスファクトリー 代表
kurumidance.com

19

竹井政章

1969年岡山県生まれ。1984年山陽町立高陽中学校卒業。1987年岡山県立東岡山工業高校卒業。1989年東京衣装(株)入社。1994年からフリーランスの制作として主にフジテレビのドラマ・映画に携わる。主な作品に、ドラマ「やまとなでしこ」、「任侠ヘルパー」、「ガリレオ」、「コンフィデンスマンJP」、「トレース〜科捜研の男」、映画「県庁の星」(2006年、高梁市でロケ)、『HERO』(2007年)、『ミックス』(2017年)、『ずぶぬれて犬ころ』(2018年)、『コンフィデンスマンJP』(2019年5/17公開) などがある。



本田孝義

1968年岡山市生まれ。1984年山陽町立高陽中学校卒業。1987年岡山県立岡山朝日高校卒業。1992年法政大学文学部日本文学科卒業。大学在学中から、自主映画の製作・上映を始める。ドキュメンタリー映画の製作と並行して現代美術展でも映像作品を発表。主な作品に『ニュータウン物語』(2003年)『船、山にのぼる』(2007年)『モバイルハウスのつくりかた』(2011年)『山陽西小学校ロック教室』(2013年)がある。『ずぶぬれて犬ころ』(2018年)は自身初の劇映画
zubuinu.com

20

カイル・ホルツヒューター

博士（生物資源科学）。一級左官技能士。日本ストローベイルハウス研究会会長。日本大学の建築・地域共生デザイン研究室でストローベイル建築、土建築を研究、日本各地でリフォームと新築を施工、ワークショップ指導等を担当。天然素材で日本家屋の断熱効果・熱性能の改善、日本の左官文化の保存及び海外への紹介に取り組んでいる。更に2017年からは、環境デザイン学習センター、パーマカルチャーセンター上初を立ち上げ、持続可能な社会作りのデザイン手法、暮らし方を広める活動に努めている。
holzhueter.blogspot.com



石田尚昭

建築家、岡山市スポーツ・文化振興財団 常務理事

21

今野真理子

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画室企画助成課 シニア・プログラム・オフィサー
東京芸術大学大学院美術研究科(絵画専攻)修了後、英国ウォリック大学大学院欧州の文化政策と運営学ディプロマ修了。ダンスカンパニーでの制作アシスタントを経て、国際文化交流機関、国際舞台芸術祭、国際美術展、公共劇場等にて文化事業の企画制作運営や助成プログラム運営に関わる。2014年4月より現職
www.artscouncil-tokyo.jp/ja



高田佳奈

県施設の指定管理業務、行政からの委託事業、多様な主体との協働事業を行うほか、公立小中学校で子どもたちに本物の文化体験を届ける学校出前講座のチーフコーディネーターとして、年間約200件実施する学校出前講座を総括。2017年度からは中国地方初の地域アーツカウンシルとなる「おかやま文化芸術アソシエイツ」を担当し、プログラム・オフィサーを兼務。岡山県唯一の認定ファンドレイザーとして相談業務やマネジメント研修の講師も多数務める。
o-bunren.jp